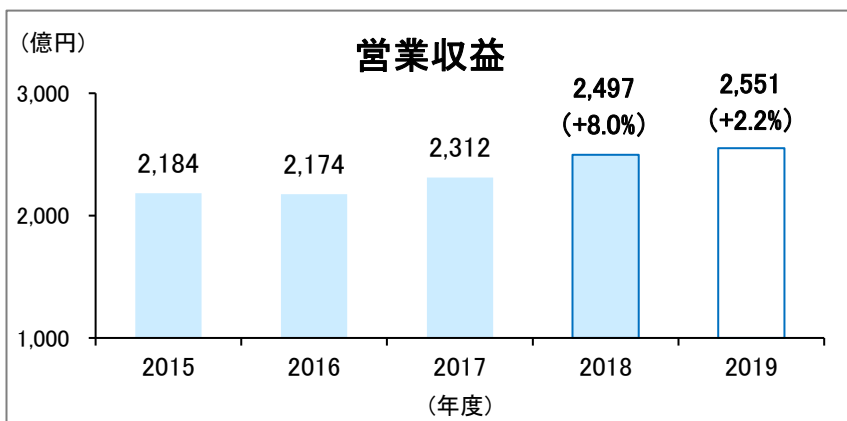


参考

(注)決算数字は、単位未満を切り捨てて表示しています。

【連結決算推移】 ※括弧内は前期比。2019年度は予想

<2018年度>

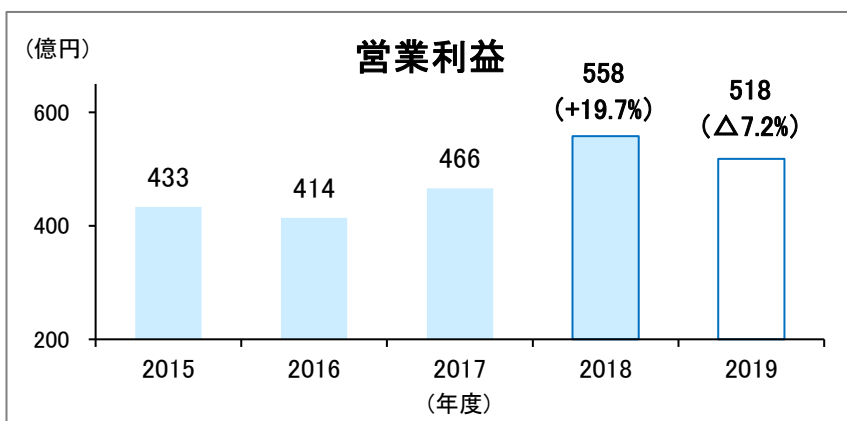
- ・2期連続で民営化以降最高を更新

<2019年度予想>

- ・3期連続で民営化以降最高を更新する見通し

[これまでの民営化以降最高]

- ・2017年度 2,312億円



<2018年度>

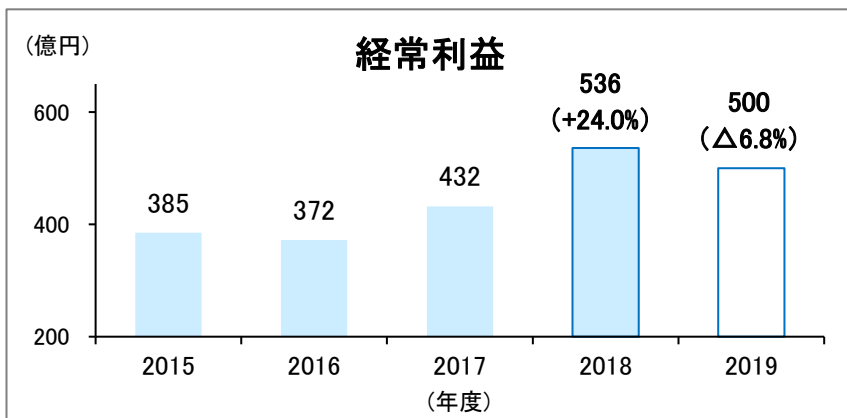
- ・2期連続で民営化以降最高を更新

<2019年度予想>

- ・3期ぶりの減益となる見通し

[これまでの民営化以降最高]

- ・2017年度 466億円



<2018年度>

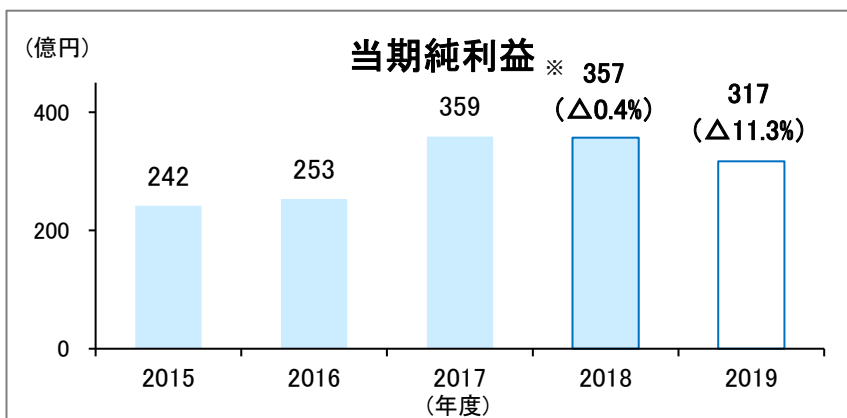
- ・2期連続で民営化以降最高を更新

<2019年度予想>

- ・3期ぶりの減益となる見通し

[これまでの民営化以降最高]

- ・2017年度 432億円



<2018年度>

- ・4期ぶりの減益
- ・代行返上益を除いた2017年度比では増益(民営化以降最高の水準)

<2019年度予想>

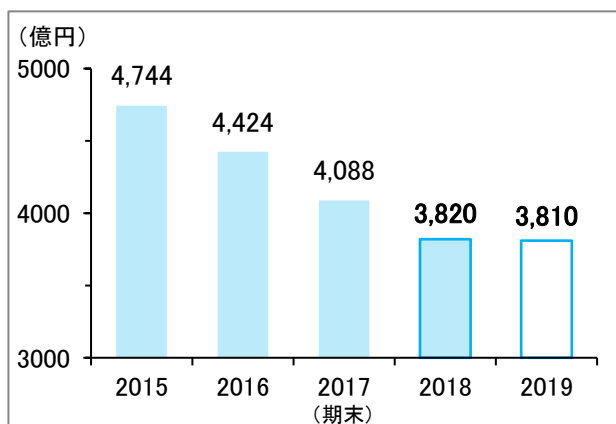
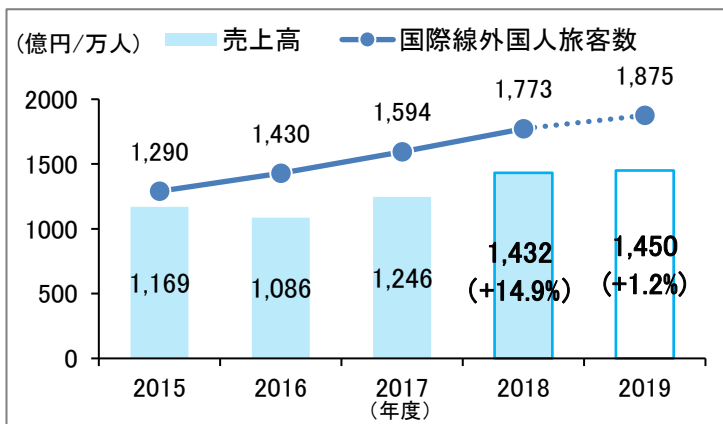
- ・2期連続の減益となる見通し

[これまでの民営化以降最高]

- ・2017年度 359億円

※親会社株主に帰属する当期純利益

【空港内免税店・物販店・飲食店売上高推移】 【連結長期債務残高の推移】

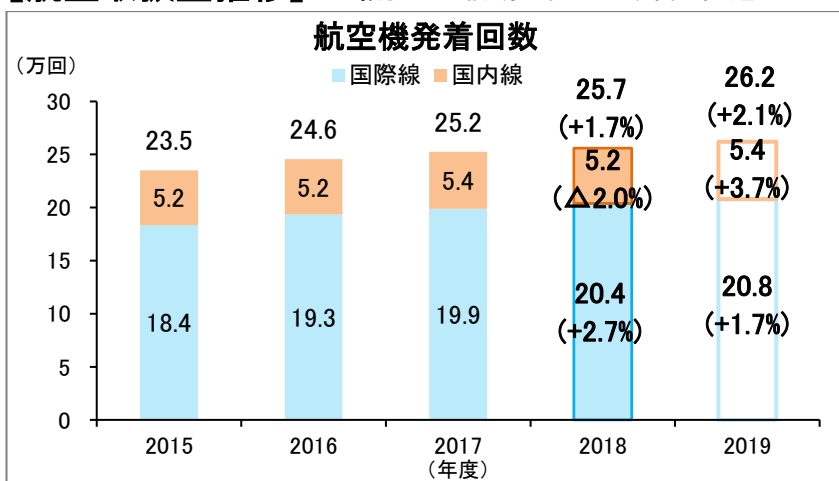


【空港内免税店・物販店・飲食店売上高推移】 ※括弧内は前期比。2019年度は予想

- <2018年度> ・2期連続で民营化以降の最高を更新
- <2019年度> ・3期連続で民营化以降の最高を更新する見通し

[これまでの民营化以降過去最高] ・2017年度 1,246億円

【航空取扱量推移】 ※括弧内は前期比。2019年度は見通し



<2018年度>

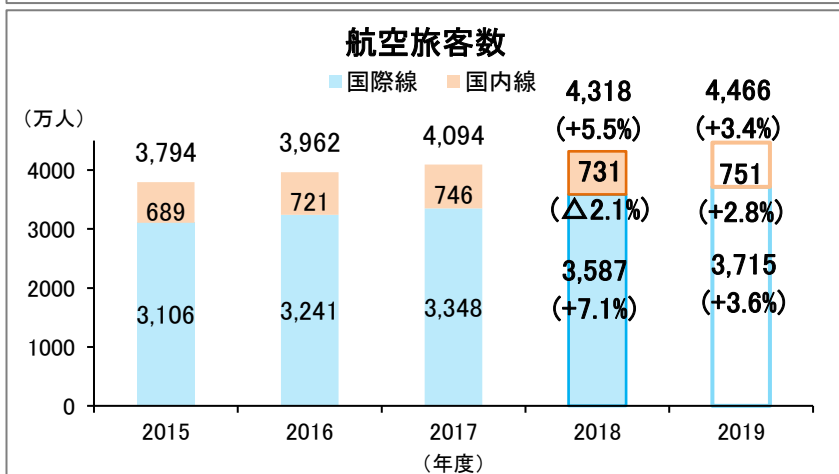
- ・全体: 7期連続で開港以来最高値を更新
- ・国際線: 4期連続で開港以来最高値を更新

<2019年度通期見通し>

- ・いずれも開港以来最高値を更新する見通し

[これまでの過去最高値]

- ・全体: 2017年度 25.2万回
- ・国際線: 2017年度 19.9万回
- ・国内線: 2017年度 5.4万回



<2018年度>

- ・全体: 4期連続で開港以来最高値を更新
- ・国際線: 開港以来最高値を更新

<2019年度通期見通し>

- ・いずれも開港以来最高値を更新する見通し

[これまでの過去最高値]

- ・全体: 2017年度 4,094万人
- ・国際線: 2006年度 3,419万人
- ・国内線: 2017年度 746万人